

令和6年度第2回島根県立少年自然の家運営委員会 議事要旨

- 1 開催日時 令和7年2月21日（金）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 島根県立少年自然の家 第1研修室
- 3 出席者 石山委員、鍛冶委員、佐田尾委員、田中委員、南口委員、
平田委員、山口委員、山下委員（8名）
（欠席委員：河村委員、小山委員、坂本委員、内藤委員、堀委員）
事務局職員9名

	意見・要望等	回答
1	<p>【Wi-Fiについて】 地域の子どもたちを地域が育てなければならないという思いで、通学合宿を地域主体で開催している。 その中で、学校の宿題をするためのタブレットが使えなかった。Wi-Fiを使えるようにしてほしい。</p>	<p>以前、業者による修理の時にサーバーの電源が切れたままだった可能性がある。早急に確認の上、対応をする。 今後のWi-Fiの利用については、団体の研修目的に応じて、使ってもらうように対応をしていく。</p>
2	<p>【Wi-Fiについて】 通学合宿は学校児童の全員が参加するわけではないため、学校側としてはタブレット使用は避けられない。 Wi-Fi環境の整備はぜひしてもらいたい。</p>	
3	<p>【スマホ・タブレットの利用について】 自然の家ではスマホやタブレットを使わずに過ごすというのは、いいなと思ったが帰ったらすぐにスマホに夢中になる生活に戻ってしまう現状がある。 そうであれば、スマホ等と上手に付き合いながら自然の家で過ごすという考え方もあると思う。</p>	
4	<p>【朝食や送迎バスの時間について】 通学合宿の際、時間の変更等に配慮してほしい。</p>	<p>食事の時間については、できるだけ施設利用者の希望に配慮をしたいと考えている。 一方で、業者委託の関係があり、なかなか希望に添えないことがある点もご理解いただきたい。</p>
5	<p>【活動のねらいについて】 職員の「あたたかい空気の中でのフォローアップ体制」が成果として数字にも出ており、学校入所の際もいい学びの場となった。 自然の家は、現代に求められている非認知能力やコミュニケーション能力や問題解決能力などの学びの場になっている。 活動のねらいの部分をもっと学校団体等へアピールするとよいと思う。児童へのアンケートでも「どんな力がついたのか？」等の項目があるとうい。 今の時代にあった自然の家の形を模索していただきたい。ICTの活用も大切かもしれないが、普段の学校では体験できないような、人と人との深いつながりを感じられる施設であってほしい。</p>	<p>活動の表面的な「成功」ではなく、「上手いかなかったこと」も含めて、そのプロセスでの学びや気づきを大切に指導をしている。 その部分のアピールをもっと学校側にすることが必要かもしれない。 学校との活動プログラムの検討時に、ねらいの確認は大切にしている。 ご意見を受けて、「利用のてびき」等にもねらいは明記されているが、今の時代に合ったねらい項目を考えていくべきと感じた。 団体のニーズと、自然の家に求められている価値も考えながら、Wi-Fi環境、ICTの活用を適切に進めていきたい。</p>

	意見・要望等	回答
6	<p>【エンジョイ！アウトドアについて】 エンジョイ！アウトドアのような事業はともよいと思う。 学校等へ行きづらい子どもたちの居場所として、いろんな場所で受け皿になれる体制をみんなで作ってあげればよいと思う。 自然の家での自然体験活動等はとても魅力的だと思う。</p>	<p>学校のみならずでも、保護者と一緒に来てもらえれば自然の家でいろいろな活動ができることは、校長会等でも少し伝えさせてもらっているが、来てもらっている事例はない。 子どもたちの体験格差をなくしていくという意味でも大切にしていきたいことであるため、力になれることはやっていきたい。</p>
7	<p>【こどもの居場所づくり】 こどもの居場所づくりについて、江東地区でも取組を始めている。そこにつながるのもいいと思う。</p>	
8	<p>【猿対策について】 猿対策について何かいい方法はないか？ 通学路でも、登下校を上から猿が見ていることもある。</p>	<p>人の存在を花火の音等で猿に知らせることで、猿に出会わないようにする。もし出会ったら、目を合わせないようにする。刺激を与えないようにする。</p>
9	<p>【高校の入所事例について】 高校の入所はどのような利用をしているのか？中学校の部活合宿が組みにくい現状がある。 部活動の地域移行に伴って、これから利用が増える可能性もある。 その時に朝食の時間の配慮があるとやりやすい。</p>	<p>高校の利用は、入学オリエンテーションの場や、勉強合宿、部活動での合宿としての利用が多い。</p>
10	<p>【小学校の統廃合について】 統廃合が来年度と再来年度でも14校ある。</p>	<p>複式学級のため隔年入所であったり、複数校が連合で入所する場合が増えてきている。 児童数や学校数が減少していく中ではあるが、KPIなど数字としての実績も求められる現状もある。</p>
11	<p>【関東圏からの子ども体験ツアーについて】 関東圏からの子どもの体験ツアーでアクアスに来てもらう事業がある。 少年自然の家へ泊まってもらうことについてどうか？</p>	<p>県民への体験機会の提供が一番ではあるが、県としてのニーズもあると考えられるため、できる限り対応していきたい。</p>

運営委員の皆様からのその他のご意見
<p>江津市はチラシが電子化となり、直接子どもに届かない。自然の家のチラシが直接子どもの目に届く工夫をしてもらいたい。</p>
<p>主催事業で地域の方が夜の読み聞かせを担当したという新聞記事を見た。今後も地域の方を大切に自然の家を盛り上げてほしい。</p>
<p>近くの菰沢公園の整備に予算がついたという新聞記事を見た。この整備に併せて浅利富士の整備等、自然の家にとっても何かよいことがないかと思った。</p>